

資料1 「華陵 Can-Do リスト」(2008年4月16日改訂)

＜卒業時の到達目標＞
「英文を読んで、表面的な情報を読み取るだけでなく、概要を要約したり、意見を述べたり、感想をまとめたりすることができる」

「表面的な情報が的確に読み取れること」	「概要が要約できること」	「意見を述べたり、感想をまとめたりすることができること」
<p>【論説文】</p> <p>(a) 文章を読んで、キー・ワードを見つけることができる。</p> <p>(b) 文章を読んで、トピックやメイン・アイデアを見つけることができる。</p> <p>(c) 段落のトピック・センテンスを見つけることができる。</p> <p>(d) 5W1H(Who, When, Where, What, Why, How)を把握できる。</p> <p>(e) ディスコース・マーカ―(例: moreover, for example, however, in other words)に着目して、文章構成を認識することができる。(例: Listing, Time Order, Comparison/Contrast, Cause/Effect, Problem/Solution)</p> <p>(f) テキストのジャンル、読む目的に応じて scanning, skimming などの適切なストラテジーを用いることができる。</p>	<p>(g) 適切なキー・ワードを含んで要約することができる。</p> <p>(h) トピック・センテンスを使って、要約することができる。</p> <p>(i) トピック・センテンスをパラフレーズしながら、自分の言葉を使って、決められた語数内で要約することができる。</p> <p>(j) ディスコース・マーカ―(例: moreover, for example, however, in other words)を適切に用いて、論理の明快な要約を書くことができる。</p> <p>(k) キー・ワードと文章構成をもとに、テキストをチャート化できる。</p>	<p>(l) テキストの主張自体、或いはテキストで扱われたトピックに関連した論題について、意見 opinion(立場)を明確に述べることができる。(例: I agree/disagree)</p> <p>(m) 適切な Signpost を使うことができる。</p> <p>(n) 理由 reason を述べることができる。</p> <p>(o) サポート(support)を適切に使うことができる。(Examples, Statistics, Expert opinions, Explanations)</p>
<p>【物語文】</p> <p>(p) 5W1Hを把握できる。</p> <p>(q) 出来事の流れをつかむことができる。</p> <p>(r) 登場人物の関係をつかむことができる。</p> <p>(s) 登場人物の特徴をつかむことができる。</p> <p>(t) 登場人物の感情が表れているところを指摘できる。</p> <p>(u) 登場人物の関係、特徴、感情について、テキストに書かれていない情報を推論できる。</p> <p>(v) 物語のテーマ、メッセージ、教訓、作者の姿勢を読み取ることができる。</p>	<p>(w) 時系列順に出来事を箇条書きできる。</p> <p>(x) それぞれの出来事に対する登場人物の感情を箇条書きできる。</p> <p>(y) 登場人物の心の動きを端的に要約に入れることができる。</p> <p>(z) ディスコース・マーカ―(例: at first, then, in the end)を適切に用いて、論理の明快な要約を書くことができる。</p> <p>(aa) 決められた語数内でストーリーを要約できる。</p> <p>(bb) 特定の登場人物を中心にストーリーを再構成できる。</p>	<p>(cc) 登場人物の言動や出来事等に対する自分の意見や感想を述べるができる。What do you think about his remark [behavior]? Do you think he did the right thing? Why, or why not? If I were her, I would do..? What would happen next?</p> <p>(dd) 物語の内容について具体的な根拠等を示しながら意見や感想を述べることができる。What do you think about this story?</p>

参考資料:

- Lubetsky, M., LeBeau, C., & Harrington, D. (2000). *Discover debate: Basic skills for supporting and refuting opinions*. Oregon, USA: Language Solutions Inc.
- Mikulecky, B. S., & Jeffries, L. (2004). *More reading power: Reading for pleasure, comprehension skills, thinking skills, reading faster* (2nd ed.). New York: Longman Pearson Education.